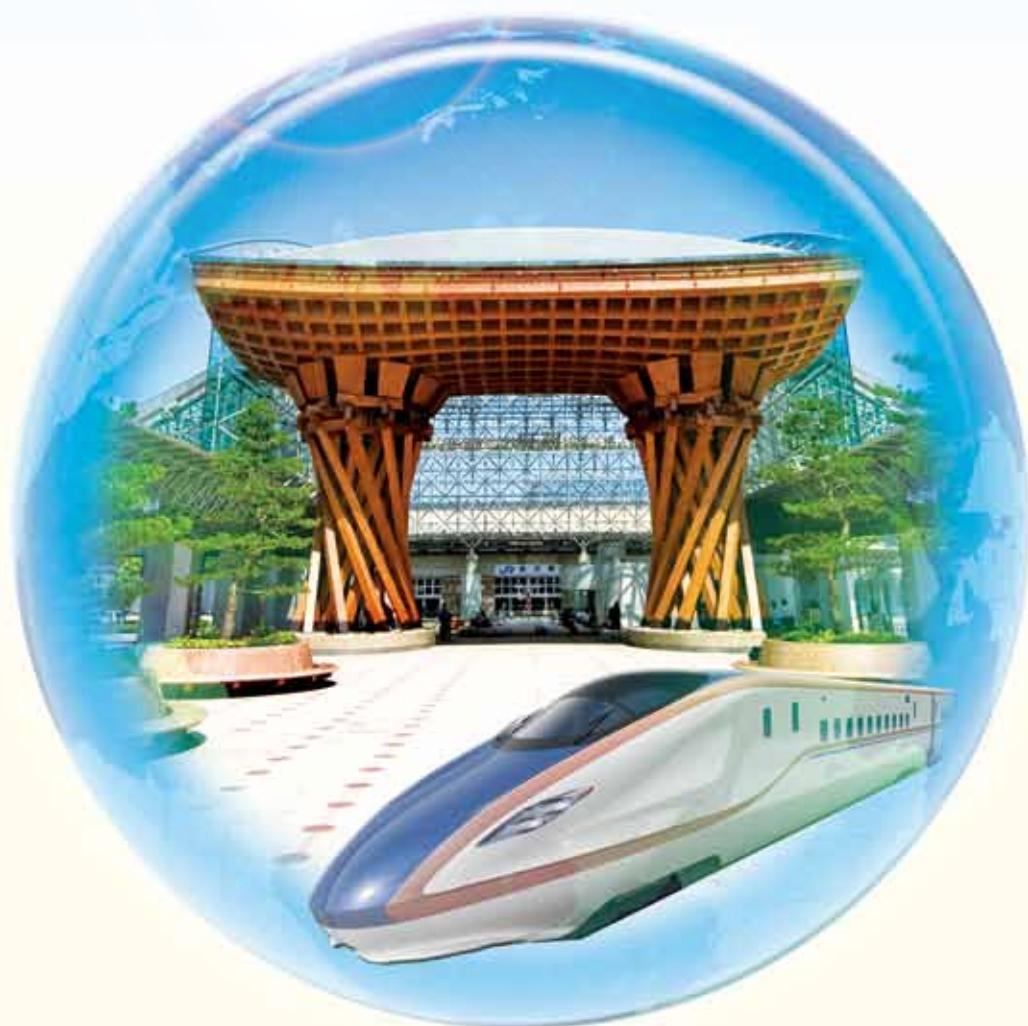


世界の

「交流拠点都市金沢」

をめざして

— 概要版 —



金沢市

は じ め に

新たな秩序を模索するグローバル社会にあつて、都市自治体には、進むべきまちの将来像を示す羅針盤を市民と共有し、その具現化に戦略的に取り組んでいくことが求められております。

本市では、昨年、「責任と誇りを持てるまち金沢像懇話会」において、まちづくりに関する今後の方向性をお示しいただき、これを踏まえて、本年度設置した「新たな都市像検討懇話会」から、金沢のめざすべき都市像についてご提言をいただきました。併せて、市民の方々からも広くご意見をいただき、ここに本市の新たな都市像となる「世界の『交流拠点都市金沢』をめざして」を策定した次第であります。

本市の先人達は、これまでまちの個性である歴史や伝統、学術、文化を大切に守り、磨き高めてきました。連綿と引き継がれたまちづくりの規範は、このまちに魅力と品格を与え、そのことによって「歴史都市」や「創造都市」として認められた本市は、現在、国内外の多くの方々から評価されうる存在になりつつあります。

都市像で言う「交流拠点都市」とは、これまでのまちづくりの基本を受け継ぎながらも、北陸新幹線金沢開業を機に更なる高みをめざし、次のステップに移行するためのものであり、これまでに培われた金沢のストックを最大限に活用することにより、国内外から人・モノ・情報の集積を図り、その交流を通じて新たな価値を創造し、持続的な発展を続けるまちのことであります。

もちろん、交流拠点都市として金沢が発展していくためには、行政はもとより、市民自らにも「自立」が求められます。即ち、一人ひとりが社会の中での役割や他者との関わりをこれまで以上に意識していくことが重要であり、そうした市民との協働を進めることで、交流拠点都市の基盤となる「誇りあるまち」につながっていくのであります。

この都市像の策定を契機として、市民のまちづくりへの関心や理解が一層高まり、行政と市民が一体となったまちづくりの取り組みが加速しますよう期待をしております。同時に、多くの人々にとって「チャンスのあるまち」となるための環境整備にも最大限の努力をしてまいりたいと存じます。

結びに、都市像の策定にあたり、貴重なご意見、ご提案をお寄せいただいた市民の皆様やご協力をいただいた関係各位に厚く感謝を申し上げます。

平成25年3月

金沢市長 山野 之義

1 時代の潮流

- 2011年東北地方を襲った未曾有の大震災により、文明社会が抱える矛盾が顕在化
- 人間の生き方や社会のあり様に変化
- 安全・安心のまちづくり、再生可能エネルギーへの関心の高まり
- 豊かで温もりのある人間らしい生き方ができる社会の実現
- 国家レベルで成し得ない価値を創造する主体として、都市自治体に寄せられる期待

2 金沢の特性

まちの立地

北陸新幹線金沢開業により、東京まで約2時間半
日本海沿岸の中央に位置し、韓国や中国など東アジアと幅広い交流

まちの品格

藩政期からの歴史、伝統、学術、文化などの個性を活かし発展
歴史都市、創造都市の認定がまちの品格を醸成

独自の産業

伝統工芸など独自の産業構造と人・モノ・情報が連関する地域産業が存在
比類なき技術・工芸は、世界と肩を並べる水準

交流の潜在力

北陸自動車道や東海北陸自動車道沿線に広がる風景は、観光のゴールデンルート
学術、建築文化や現代美術などの創造性は、観光拠点としての潜在力

独特のコミュニティ

藩政期から培われた自治の伝統があり、市民はまちへの強い愛着と連帯意識をもつ
町会や公民館、福祉活動、自主的防災活動などから生まれる連帯と協調を旨とする
市民意識が根づく土壤

3 金沢の課題

1) 新幹線時代への対応

活力ある地域づくりに取り組み、効果を最大限に活かした交流人口の拡大

2) 国内外との交流の促進

新幹線沿線都市やユネスコ創造都市等との交流

3) 都心部における都市機能の集積

都心軸沿線の都市機能及び賑わいに資する交流機能の強化

4) 環境を重視したまちへの転換

人と自然の共生によるエネルギー消費型のライフスタイルからの脱却

5) 安全安心な都市の構築

大規模な自然災害への備えなど、市民が安心して暮らせる都市の実現

6) 新たなコミュニティの形成

絆や支え合いを大切にした現代にふさわしい新たな地域コミュニティの形成

II 都市像

世界の「交流拠点都市金沢」の実現 ～市民が創る誇りあるまち～

歴史や伝統、学術、文化などの個性を守り、磨き高めてきた金沢は、
他都市に類を見ない資産を有しています。

その資産を大切にし、市民が誇れるまちであり続けるためには、
個性ある新たな価値を創造し続ける必要があります。

その具現化に向けて、人・モノ・情報の交流拠点になることが最も重要であると考え、
世界の「交流拠点都市金沢」の実現をめざします。



- ビジネスチャンスの拡大
- 都市の魅力向上

新たな価値の 創造

- 個性を活用し、革新の息吹
- 交流による新しい価値を創造
- 交流を活かした国内外への発信

市民が創る誇りあるまち

市民協働

絆・支え合い

安全安心な都市

III 重点方針

世界の「交流拠点都市金沢」をめざして

時代の変化に対応しながら、
世界の交流拠点都市をめざしていくためには、
特性を活かした交流拠点都市としての
機能強化が必要です。



卯辰山公園からの夜間景観

1 産業創出 (技術力に裏打ちされた新たな産業の創出)

- ネットワーク拠点機能の強化
- 新産業の創出
- ビジネスチャンスの拡大



金沢クリエイティブベンチャーコンテスト

2 学術文化 (まちの品格を高める学術文化の醸成)

- 高等教育研究機関の活用
- 国際会議機能の充実
- MICEの誘致



3 観光交流 (観光を軸とした交流の活発化)

- スポーツ交流拠点の整備
- 広域観光ルートの設定
- ナイトカルチャーの充実



4 交通基盤 (新幹線時代に対応した交通基盤の整備)

- 交通ネットワークの確立
- 国際物流拠点の拡充
- 国際観光拠点の充実



5 コミュニティ (あらゆる世代に対応した新たなコミュニティの形成)

- まちづくりへの参画
- 生涯学習機能の強化
- 地域・世代の交流



学生の雪かきボランティア

IV 基本方針

都市像の具現化を支え、
都市づくりに不可欠な要素を
7つの基本方針として掲げました。



魅力づくり

～個性を伸ばす～

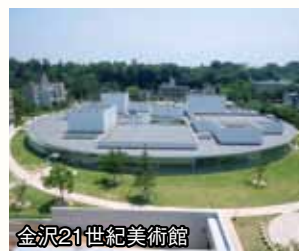
藩政期から培われてきた歴史や伝統、学術、文化などの資産を継承するとともに、創造都市としての多様な分野のネットワーク拠点機能を強化するなど、金沢の個性を伸ばし、世界に魅力を発信します。

伝統と創造で発展するまち

- 歴史文化資産の活用
- 創造都市の推進
- 伝統文化の継承・発展
- 新たな文化の創造・発信

学術・観光資源を活かすまち

- MICEの促進
- 観光力の強化
- スポーツの振興
- 高等教育機関の集積効果の活用



まちづくり

～都市機能を高める～

暮らしと一体となった品格ある景観形成とともに、金沢駅から香林坊、片町に至る都心軸における都市機能の集積を図ります。また、交通ネットワークや情報インフラの整備により、拠点都市としての基盤を強化します。

品格と機能性が両立するまち

- 品格のあるまちづくりの推進
- コンパクトな都市機能の集積
- 調和のとれた都市構造の形成
- 商業の振興
- 交通ネットワークの確立
- 情報インフラの整備・充実

拠点性が高まるまち

- 広域交通基盤の整備・充実
- 道路インフラの整備・充実
- 圏域交流の推進



ものづくり

～活力を生み出す～

ものづくり産業の活性化をめざし、金沢の高い技術力を国内外に発信することで、販路拡大や起業支援、企業誘致等を推進します。また、農林業については、就業者への支援やブランド化とともに、中山間地域の活性化に努めます。

グローバル・ネットワークを活かしたまち

- クラフト産業の振興
- ものづくり産業の活性化
- 起業支援の強化
- 企業立地の推進

農林業が持続的に発展するまち

- 農業の振興
- 林業の振興
- 中山間地域の活用



市民による中山間地域の活用

ひとづくり

～未来を育む～

子育て支援を強化するほか、ワーク・ライフ・バランスやふるさとに愛着と誇りを持つ教育の推進など、子育て環境の充実を図ります。また、ものづくりや文化芸術活動、地域活動を担う若い世代の育成、掘り起こしに努めます。

豊かな人間性を育むまち

- 子育て環境の充実
- 特色ある教育の推進

次世代を担う人材を育てるまち

- 多様な産業における担い手の育成
- 地域の担い手づくり



環境づくり

～自然と共に生きる～

再生可能エネルギーの導入を促進するとともに、エコライフの推進やごみの資源化など、環境への負荷を軽減します。また、水質や周辺の自然環境、農地、森林の保全に努め、自然との共生をめざします。

環境への負荷が少ないまち

- エネルギーの自立
- 循環型社会の形成
- 環境にやさしい活動の推進

潤いある生活ができるまち

- 安全で快適な生活環境の保持
- 自然環境の保全
- 農地・森林の多面的機能の保全



再生可能エネルギーの導入

くらしづくり ～安心して暮らせる～

災害時におけるライフラインの確保や防災意識の啓発により、減災体制を構築します。また、市民のこころと身体健康づくりを促進するほか、高齢者福祉、地域医療の充実を図ります。

災害に強いまち

- 防災体制の強化
- 消防・救急体制の強化

健やかな暮らしを支えるまち

- 障害のある人の自立支援
- こころと身体健康づくり
- 保健・医療・福祉拠点の連携・充実



防災拠点広場の整備

絆づくり ～協働を進める～

協働の新たな担い手となる人材を育成するとともに、創造性のあふれる学生の感性を活かした協働のまちづくりを推進します。また、世代間交流や高齢者の社会参加を推進するため、生涯学習機能を強化します。

地域コミュニティを支えるまち

- 市民協働の推進
- 学生の地域活動の促進
- コミュニティ活動への支援
- 生涯現役のしくみづくり

地方の自立をめざすまち

- 行政サービスの充実
- 持続可能な行財政基盤の確立



金沢学生のまち市民交流館



お問い合わせ

〒920-8577 金沢市広坂1丁目1番1号

金沢市 都市政策局 企画調整課

TEL:076-220-2031 FAX:076-264-2535 E-mail: kikaku@city.kanazawa.lg.jp